

平成26年度（平成25年度対象）

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書

平成26年12月

常陸太田市教育委員会

# 目 次

## ．教育委員会施策の点検・評価の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 1．趣旨          | 1 |
| 2．点検・評価の目的    | 1 |
| 3．点検・評価の対象    | 1 |
| 4．点検・評価の方法    | 1 |
| 5．点検・評価結果の公表等 | 2 |
| 6．点検・評価結果の概要  | 2 |

## ．施策別点検・評価

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 教育委員会施策の点検・評価書（平成25年度事業） | 4 |
|--------------------------|---|

|               |    |
|---------------|----|
| 参考 教育委員会の活動状況 | 26 |
|---------------|----|

## 平成26年度教育委員会施策の点検・評価の概要

### 1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

### 2. 点検・評価の目的

教育委員会における主要な施策や事務事業について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。  
点検・評価の結果について報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし市民に信頼される教育行政を推進する。

### 3. 点検・評価の対象

平成25年度施策を点検・評価する。

- ・常陸太田市第5次総合計画後期基本計画における教育委員会所管の12施策

### 4. 点検・評価の方法

施策を構成する主な事務事業の評価を基に、施策の目標達成に向けた取組状況と成果の点検・評価を実施する。

学識経験者による教育行政評価委員が、施策評価や施策の改善点等について審議する。

#### (1) 事務事業の評価

施策の目標達成のために行った主な事務事業について、その成果や課題を精査検証し評価する。

評価については、「a 期待した成果があった」、「b 一定の成果があった」及び「c 見直しや改善が必要」の三段階で評価する。

#### (2) 施策の評価

事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を評価する。

評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価する。

今後の方向性を明確にするため、「課題と今後の方向」を記載する。

( 3 ) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する教育行政評価委員の審議を行う。

教育行政評価委員（敬称略）

| 分 野       | 氏 名   | 所属等              |
|-----------|-------|------------------|
| 学 校 教 育   | 村 田 規 | 元学校長（元学校長会会長）    |
| 社 会 教 育   | 益 子 治 | 社会教育委員会議議長       |
| 保 護 者 関 係 | 栗 原 香 | 市女性ネットワーク委員会副委員長 |

5 . 点検・評価結果の公表等

( 1 ) 議会への提出

点検・評価の結果について報告書を作成し、市議会に提出する。

( 2 ) 市民への公表

報告書を市ホームページにより公表する。

6 . 点検・評価結果の概要

主な事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価した。

今回、点検・評価の対象とした12施策は、全て「B 一定の成果があった」であった。

( 1 ) 総合計画における教育委員会所管の12施策

| 番号 | 施策名                 | 評価結果 | 主な事務事業数 | 主な事務事業の評価結果 |   |   |
|----|---------------------|------|---------|-------------|---|---|
|    |                     |      |         | a           | b | c |
| 1  | 子育てへの支援             | B    | 3       | 2           | 1 |   |
| 2  | 豊かな心の育成             | B    | 8       |             | 8 |   |
| 3  | 魅力ある学校づくり           | B    | 10      | 3           | 7 |   |
| 4  | 国際力の育成              | B    | 3       | 1           | 2 |   |
| 5  | 多様な学習機会の支援          | B    | 3       | 1           | 2 |   |
| 6  | 地域文化活動への支援          | B    | 5       | 2           | 3 |   |
| 7  | スポーツ・レクリエーション活動への支援 | B    | 4       | 1           | 3 |   |

|    |                      |   |    |    |    |  |
|----|----------------------|---|----|----|----|--|
| 8  | 犯罪のないまちづくり           | B | 1  |    | 1  |  |
| 9  | 地産地消の推進              | B | 1  |    | 1  |  |
| 10 | 歴史資源の保護・活用           | B | 5  | 2  | 3  |  |
| 11 | 自然・観光資源の環境整備とネットワーク化 | B | 3  | 1  | 2  |  |
| 12 | 広域連携・交流の推進           | B | 1  |    | 1  |  |
| 計  |                      |   | 47 | 13 | 34 |  |

・ 施策別点検・評価

別紙「教育委員会施策の点検・評価書（平成25年度事業）」による。

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |   |  |  |             |             |    |
|---------------|---|--|--|-------------|-------------|----|
| 施策名           | 子育てへの支援   |  | 担当課  | 教育総務課・生涯学習課 |             |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第1章   | 「輝く人」をつくる  |  |             |             |    |
|               | 第1項   | 未来を拓く人づくり  |  |             |             |    |
| 施策の目標         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で安心して子どもを産み育てられるよう、地域ぐるみの子育て支援体制の充実を図る。</li> <li>・経済的支援や相談体制など、子育て家庭への支援対策の充実を図る。</li> </ul>  |  |  |             |             |    |
| 現状と課題         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化や少子化、高度情報化など子どもを取り巻く社会環境は大きく変化し、子育てへの不安が社会問題となっている。安心して子育てができる環境や子育て家庭へのよりきめ細やかな支援など、少子化・人口減少対策の一環として、地域ぐるみの子育て支援の一層の充実を図る必要がある。</li> <li>・子育て世代の経済的負担を軽減するため、市立幼稚園に通う第3子以降の園児及び市立幼稚園に2人就園している場合の2番目の園児の保育料について減免を実施。第3子以降園児については、平成25年度より給食費を無料とした。</li> </ul> |  |  |             |             |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名   | 概要   | 主な成果   |             |             | 評価 |
|               | 放課後子ども教室推進事業  | ・放課後の小学生の活動場所として、ボランティアが子どもたちの安全を見守りながら一緒に活動し、子どもたちが安心して自由に「学び」「体験」「交流」「遊び」ができる環境をつくる。 | ・市内全小学校区(14小学校区)で放課後子ども教室を実施し、うち9小学校区で週1回、5小学校区で週2回実施した。実施回数607回、参加児童数545人、ボランティア登録人数は254人であった。市内の全小学校区で実施し、対象児童の88.3%が参加した。 |             |             | b  |
|               | 市立幼稚園保育料の第3子以降無料化   | ・市立幼稚園に通う園児が第3子以降にあたる場合、保育料の全額免除。  | ・55名の減免申請があり、減免を認定した。  |             |             | a  |
|               | 市立幼稚園保育料の2人目減額措置  | ・市立幼稚園に同一家庭から2人就園している場合の2番目の園児について、保育料を月3000円減額。                                       | ・27名の減免申請があり、減免を認定した。  |             |             | a  |
| 成果を示す主な指標     | 事業名   | 指標名(単位)  | H23  | H24         | H25         | 評価 |
|               | 放課後子ども教室推進事業  | 放課後子ども教室への参加率(%)<br>(参加人数/対象人数)  | 83   | 85          | 88          | b  |
|               | 市立幼稚園保育料の第3子以降無料化   | 減免認定者数   | 84   | 73          | 55          | a  |
|               | 市立幼稚園保育料の2人目減額措置  | 減免認定者数   |  | 29          | 27          | a  |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった  |  | B 一定の成果があった  |             | C 見直しや改善が必要 |    |
|               |   |  |  |             |             |    |
| 課題と今後の方向      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室のボランティアの人数に偏りがある。ボランティア同士の意見の対立が見られる小学校区もあり、更なる事業内容の充実を図るため、運営委員会や学校、ボランティアとして活動されている地域の方々の調整を行いながら事業の推進を図る必要がある。</li> <li>・平成26年度より小学校1年生～3年生に兄弟がいる幼稚園の最年長者についても、減免の対象とする。</li> </ul>  |  |  |             |             |    |
| 教育行政評価委員による意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園保育料の第3子以降無料化の減免認定者数が減少傾向にあり、少子化が顕著に読み取れる。少子化を踏まえ、子育てへの支援について全庁的な施策の推進を期待したい。</li> </ul>  |  |  |             |             |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|              |  |  |  |                     |
|--------------|--|--|--|---------------------|
| 施策名          | 豊かな心の育成  |  | 担当課  | 教育総務課・生涯学習課・図書館・文化課 |
| 総合計画における位置づけ | 第1章  | 「輝く人」をつくる  |  |                     |
|              | 第1項  | 未来を拓く人づくり  |  |                     |
| 施策の目標        | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち等が感性を磨き豊かな創造力を身につけられるよう、音楽や芸術活動、読書活動を推進する。</li> <li>市民の総意を結集し、連帯と協調によって青少年の健全育成を図る。</li> <li>絵本を通して親子が心ふれあうひとときをもつきっかけをつくる。また、幼少の早い時期から本に親しんでもらう。</li> </ul>   |  |  |                     |
| 現状と課題        | <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生に楽器演奏や演劇等を鑑賞させることにより、芸術への関心をたかめさせ、感動の心、豊かな情操を涵養し、健全な青少年を育成していく。</li> <li>児童・生徒の読書活動を推進するため学校図書館の充実を図っている。</li> <li>少子化や高度情報化、都市化など青少年を取り巻く社会環境が激変する現状の中で、青少年を取り巻く生活環境は悪化の傾向にあり青少年による衝動的な犯罪や陰惨な事件が頻発するようになっている。このような青少年を取り巻く問題に対処するためには、学校や関係団体、関係機関との連携・協力を図りながら、家庭や地域社会における教育力の向上に努め、優れた地域資源や人材を活用して、郷土常陸太田市への愛着を持った青少年健全育成を推進する必要がある。</li> <li>核家族化や晩婚化が進行する中、子育てへの不安が社会問題となっている。そうした中で、親子の触れ合いをもつことは子育て支援にもつながり、赤ちゃんの早い時期から本に触れることにより感情や想像力の向上を図っていく。</li> <li>音楽をとおした感性や創造力の育成のため、ミュージックセミナー開催事業・グランドピアノ開放事業を推進している。</li> </ul> |  |  |                     |
| 事務事業の成果と評価   | 事業名  | 概要   | 主な成果   | 評価                  |
|              | 小学生・中学生芸術鑑賞教室  | ・小学5・6年、中学1・2年を対象に市民交流センターにおいて楽器演奏や演劇等を鑑賞する。   | ・芸術への関心をたかめさせ、感動の心、豊かな情操を涵養している。   | b                   |
|              | 学校図書館の充実   | ・文部科学省の設定している学校図書館の図書標準冊数(学級数により異なる)を達成するため、計画的に図書を購入している。<br>・小学校の学校図書館へ専任司書の配置。  | ・平成24年度より、小・中学校全校で学校図書館の図書標準を達成している。<br>できた。<br>・平成24年度より、小学校全校に専任司書を配置し学校図書館の充実を図っている。  | b                   |
|              | 青少年健全育成市民の会  | ・「青少年健全育成市民の会」の活動支援を行う。<br>シンボルマーク旗作成<br>青少年主張作文の募集及び弁論大会の開催<br>毎月第3日曜日の『家庭の日』の推進(絵画・標語等作品募集、自然体験事業の実施)<br>『あいさつ・声かけ運動』の普及・推進<br>青少年育成茨城県民会議との連携・協力<br>地区推進協議会、町推進委員会における事業の実施 | ・市民の会表彰要綱に基づく表彰(団体3組、個人8名)・機関紙『グリーンネックレス』の発行(2回)・シンボルマーク披露<br>・家庭の日絵画、標語等募集(応募総数441点)<br>・家庭の日推進講演会(参加者数350人)・市内巡回パトロール(2回延20人参加)・視察研修(参加者数15人)・青少年の主張作文192点・弁論大会(参加者数300人)・『あいさつ・声かけ運動』等街頭キャンペーン(2回60人) | b                   |
| 西山研修所管理運営事業  | 豊かな地域資源を活用した共同生活訓練などを通して、成人及び青少年の人間形成を図るとともに、都市との交流を図り活力ある地域づくりに寄与するため西山研修所運営をする。  | 指定管理初年度として、利用者数28,515人であったが、震災前33,851人であった平成22年度に比較し、84.2%(対平成24年度126.1%)まで回復している。(平成24年度利用者数22,605人)  | b  |                     |

|                       |  |   |  |       |             |    |
|-----------------------|--|---|--|-------|-------------|----|
| 事務事業の<br>成果と評価        | ブックスタート  | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進課が実施する0歳児(4~6ヶ月児)健診時に、ボランティアによる読み聞かせを実施した後、ブックスタートパックをプレゼントする。</li> <li>ブックスタートパック(絵本2冊、ブックスタートのしおり等布製バッグに入れたもの)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を通して親子が心ふれあうひとときをもつきっかけをつくることできた。</li> <li>平25対象者...246人</li> <li>平25受領者...221人</li> </ul>                  | b     |             |    |
|                       | ミュージックセミナー開催   | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民吹奏楽団との共催により、一流の講師を招いて管・打楽器の個人セミナーと団体セミナーを開催する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人セミナーは、管・楽器8部門について全5回のレッスンを実施し、団体セミナーは、市内中学校と高等学校の吹奏楽部が延べ10回参加した。</li> <li>吹奏楽部の演奏技術向上に大きく寄与している。</li> </ul> | b     |             |    |
|                       | グランドピアノ開放  | <ul style="list-style-type: none"> <li>大ホールに設置のグランドピアノ2台を開放する(有料)。音響特性に優れた大ホールでの演奏機会を提供することにより、音楽に対する感性を養うとともに技術向上に寄与する。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>5期15日間実施し、41名の参加者があった。</li> </ul>   | b     |             |    |
| 成果を示す<br>主な指標         | 事業名  | 指標名(単位)   | H23  | H24   | H25         | 評価 |
|                       | 小学生・中学生芸術鑑賞教室  | 参加した児童生徒数(人)  | 2,168  | 2,036 | 1,939       | b  |
|                       | 学校図書館の充実   | 図書標準達成校数(校)   | 23   | 22    | 22          | b  |
|                       | 青少年健全育成市民の会  | 市民の会主催事業の参加者数(人)  | 1,325  | 1,882 | 1,539       | b  |
|                       | 西山研修所管理運営事業  | 利用者数(人)   | -  | -     | 28,515      | b  |
|                       | ブックスタート  | ブックスタートパック贈呈率(%)  | 94.6   | 93.4  | 89.8        | b  |
|                       | ミュージックセミナー開催   | セミナーの受講者数(団体含む)(人)  | 465  | 505   | 474         | b  |
|                       | グランドピアノ開放  | 開放の参加者数(人)  | 17   | 69    | 41          | b  |
| 施策の<br>総合評価           | A 期待した成果があった   |   | B 一定の成果があった  |       | C 見直しや改善が必要 |    |
|                       |  |   |  |       |             |    |
| 課題と<br>今後の方向          | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に小・中学校それぞれ「芸術鑑賞教室実施計画」を作成したので、鑑賞内容が偏らないよう計画的に実施していく。</li> <li>小学校全校に専任司書を配置したので、これまで以上に司書教諭と連携し、より魅力ある学校図書館を運営していく。</li> <li>青少年健全育成に対する市民ひとり一人の意識を高めていくことが課題である。青少年の健全育成の推進を図るためには、青少年健全育成市民の会をはじめとし、学校や地域、関係団体等との連携・協力が不可欠であるので、今後も関係機関等との連携強化を進めながら、各種事業の充実化や各種推進運動の普及を推進する。</li> <li>平成22年度から実施しているが、ブックスタート事業のPRに努め、対象赤ちゃんに兄弟姉妹と同じ絵本がプレゼントされないよう選書に配慮し、贈呈率の向上を図る。また、おはなし会やその他の図書館行事にも足を運んでもらい、幼少の早い時期から本に親しめるよう継続していく。家族みんなが本に興味を持ち、読書環境をつくることによって図書の利用向上を図れるよう推進していく。</li> <li>ミュージックセミナー開催事業は、レッスンセミナーとして定着し成果を挙げていることから、今後も継続していく。しかし個人セミナーの受講者が、児童・生徒数の減少化に伴い年々減る傾向にある。</li> <li>グランドピアノ開放事業は、開放期日を年々拡大して実施してきたが、現在の5期15日間の開放で定着していることから、この開催期日を継続していく。</li> </ul> |   |  |       |             |    |
| 教育行政<br>評価委員<br>による意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつや声かけ運動により、小中学生、高校生のあいさつができる子どもが多い。不審者情報等に過敏になるあまり、あいさつというコミュニケーションが希薄になる不安があるが、引き続き、学校や地域との連携のもと、青少年健全育成に努めてほしい。</li> <li>全小学校の学校図書館に専任司書を配置しているが、司書と学校教諭の連携を強化しながら魅力ある学校図書館を運営し、読書活動の推進に努めてほしい。</li> </ul>   |   |  |       |             |    |



## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

| 施策名                 | 豊かな心の育成  |  | 担当課   | 指導室 |             |    |
|---------------------|--|--|---|-----|-------------|----|
| 総合計画における位置づけ        | 第1章  | 「輝く人」をつくる  |   |     |             |    |
|                     | 第1項  | 未来を拓く人づくり  |   |     |             |    |
| 施策の目標               | 各学校の人権教育や、道徳、特別活動、生徒指導の充実を支援することによって、いじめや不登校等を未然防止、早期発見及び早期解決を図るとともに、児童生徒の内面的な実態や保護者等からの情報により積極的に児童生徒を支援し、自己有用感を高め、自他の生命を大切に、やさしい心をもってたくましく生きる児童生徒を育成する。   |  |   |     |             |    |
| 現状と課題               | ・全小中学校で小学5年生から中学2年生までの全児童生徒に年2回のハイパーQ-U(よりよい学校生活と友達作りのためのアンケート)実施し、児童生徒の実態を捉えた生徒指導や学級経営を行うなど、積極的に事業推進が図られている。また、地域や児童生徒の実態を踏まえた道徳、特別活動等の取組が効果的に位置づけられている。さらに、実態把握の対象を広げるとともに、Q-Uの結果の活用方法について研修を深める必要がある。   |  |   |     |             |    |
| 事務事業の成果と評価          | 事業名  | 概要   | 主な成果  |     |             | 評価 |
|                     | あたたかな人づくり推進事業  | 規範意識の醸成と安心して学べる学校、学級づくりの推進                         | 各学校が自校の児童生徒の実態を把握・分析し、問題行動の未然防止に努めている。          |     |             | b  |
|                     |  | 学校全体で取り組む道徳教育、人権教育の充実                              | 各学校では、教育活動の中に教育相談や道徳、特別活動等の取組を効果的に位置づけ実践している。   |     |             |    |
|                     |  | 親子ともみがき活動の展開による家庭教育の充実                             | 親子ともみがき活動を家庭・地域との連携による教育効果の向上の機会と捉え、積極的に推進している。 |     |             |    |
|                     |  |  |   |     |             |    |
| 成果を示す主な指標           | 事業名  | 指標名(単位)  | H23   | H24 | H25         | 評価 |
|                     | あたたかな人づくり推進事業  | いじめ解消率   |   |     | 98%         | b  |
|                     |  | 全国学力学習状況調査アンケート「人の気持ちがわかる人間になりたい」児童生徒割合(H20.21.25) | 95%   | 95% | 95%         |    |
|                     |  | 全国学力学習状況調査アンケート「家の手伝いをしている」児童生徒割合(H20.21.25)       | 78%   | 75% | 78%         |    |
| 「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合 |  | 93%  | 92%   | 93% |             |    |
| 施策の総合評価             | A 期待した成果があった   |  | B 一定の成果があった                                     |     | C 見直しや改善が必要 |    |
|                     |  |  |   |     |             |    |
| 課題と今後の方向            | ・人間関係をうまく構築できない児童生徒の問題行動は喫緊の課題であり、対人関係能力の育成は各学校における課題である。本事業を今後も継続することにより、児童生徒一人一人の豊かな心の育成に努める。<br>・Q-Uアンケートを小学4年生から中学3年生までの児童生徒に広げて実施することで、よりきめ細やかな見取りや社会的スキルの育成に資すると考える。また、外部講師の招聘等により、人権教育や学級活動の研修会を充実させ、各学校や教職員を支援していく。  |  |   |     |             |    |
| 教育行政評価委員による意見       | ・人の気持ちがわかる人間になりたい児童生徒の割合が95%であり、一見高い水準にあるようだが、裏を返せば残り5パーセントは「人の気持ちかわる人間になりたい」その気持ちが欠けている。この5パーセントに注目をし、児童生徒の「徳」の教育を進めていってほしい。<br>・Q-Uテストは、正直に回答しにくい心理が働く場合もあり、逆に些細なことでもいじめ等の被害意識で回答してしまう傾向もあると思われる。子どもたちは多感期であり個々の対応は難しいが、子どもたち自身の自己問題解決能力や調整力を養えるようにするには、学校のみならず家庭教育も重要となってくるのではないかと。 |  |   |     |             |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |   |   |  |       |
|---------------|---|---|--|-------|
| 施策名           | 魅力ある学校づくり   |   | 担当課  | 教育総務課 |
| 総合計画における位置づけ  | 第1章   | 「輝く人」をつくる   |  |       |
|               | 第1項   | 未来を拓く人づくり   |  |       |
| 施策の目標         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上と児童・生徒一人ひとりに対するきめ細やかな指導を目指して、教職員の資質向上を図る。</li> <li>・学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。</li> <li>・園児・児童・生徒の通園通学手段や安全を核とするため通園・通学バスを運行するとともに、遠距離通学する児童生徒の通学費を補助し、保護者の負担軽減を図る。</li> <li>・学校施設等の耐震化や老朽施設の改修整備を推進し、学校規模・配置の適正化を図る。</li> </ul>  |   |  |       |
| 現状と課題         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒及び園児の数は、少子化の進行により減少し、複式学級や学級数の減少が進み、小・中学校や幼稚園においてこれらをできるだけ解消するため、統廃合の協議が進められている。</li> <li>・園児及び児童・生徒の安全確保や通学時間の短縮のため、また、幼稚園統合による園児の通園手段を確保するため通園・通学バス等を運行する。</li> <li>・遠距離通学する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、バス通学及び自転車通学者に対し通学費を助成する。</li> <li>・学校施設の耐震化や老朽施設の更新・整備等は計画的に進めているが、施設整備の前倒しや整備方針の変更など早急に完了する必要がある。</li> </ul> |   |  |       |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名   | 概要  | 主な成果   | 評価    |
|               | 学校統廃合   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の影響で、園児・児童生徒数が減少し小規模化している。</li> <li>・小中学校等における仲間づくりや教育内容の質的充実を図るため、適正規模を確保し、より良い教育環境を整えていく必要がある。</li> <li>・将来的な園児・児童生徒数の推移や地域の地理的・歴史的な成り立ちによる生活圏等に配慮した市の全体的な適正配置に努める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小里小学校と賀美小学校を統合し、里美小学校として開校するにあたり、通学方法等の調整を進めた。</li> <li>・南中学校と北中学校については、統合に係る調整会議を開催し、協議を重ねた。</li> </ul> | a     |
|               | 通園・通学バス運行   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通園・通学バスの運行業務委託、タクシーによる送迎業務委託。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児及び児童・生徒の安全確保、通学時間の短縮。</li> </ul>   | b     |
|               | 遠距離通学費補助事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校:通学距離4km以上のバス通学者に対し、定期代全額補助。</li> <li>・中学校:通学距離6km以上のバス通学者に対し、6kmを超える部分の定期代の補助。また、通学距離6km以上の自転車通学者に対し、月額1,000円を補助。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学する児童生徒の保護者の負担軽減。</li> </ul>   | b     |
| 学校施設耐震診断・耐震改修 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園及び小中学校の校(園)舎・屋内運動場の耐震診断を行い、改修が必要な施設の耐震改修工事を行う。耐震改修は、平成27年度までに行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断は、中学校1校の屋内運動場を実施した。</li> <li>・耐震改修の実施設計は、中学校1校(屋内運動場)と小学校1校(屋内運動場)について行った。</li> <li>・耐震改修工事は、中学校屋内運動場2棟、小学校校舎5棟及び小学校屋内運動場1棟を実施し、耐震化率は平成25年度末で85.5%になった。</li> </ul>              | b  |       |

|                       |   |  |  |     |             |    |
|-----------------------|---|--|--|-----|-------------|----|
| 事務事業の<br>成果と評価        | 里美小中学校整備  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・賀美小学校と小里小学校を統合整備し、現里美中学校校舎に接続した校舎を建設、小中一貫教育を目指す。さらに、里美地区の教育ゾーンを確立させ、規模適正化を図る。</li> <li>・構造：鉄筋コンクリート</li> <li>・階数：地上2階</li> <li>・延床面積：11,184.44㎡</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・賀美小学校と小里小学校の統合校舎建設については、平成25年度に完了した。平成26年度に小学校統合を行い、里美小中学校が共有する屋内運動場の建設を予定する。</li> </ul>       |     |             | b  |
|                       | 金砂郷統合中学校整備  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南中学校、北中学校を統合、中学校規模・配置の適正化を目指し、金砂郷統合中学校の校舎及び屋内運動場の整備を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度から平成26年度にかけ、南中学校、北中学校の統合の整備を行うため、校舎建設の実施設計を開始した。平成26年度から平成27年度にかけ統合校舎建築を予定する。</li> </ul> |     |             | b  |
| 成果を示す<br>主な指標         | 事業名   | 指標名(単位)  | H23  | H24 | H25         | 評価 |
|                       | 通園・通学バス運行   | 園児・児童・生徒の乗車人数  | 107  | 243 | 210         | b  |
|                       | 遠距離通学費補助事業  | 補助実施者  | 296  | 264 | 226         | b  |
|                       | 耐震診断  | 耐震診断実施(校)  | 10   | 1   | 1           | b  |
|                       | 耐震改修  | 耐震改修工事実施済(校)   | 3  | 3   | 7           | b  |
| 施策の<br>総合評価           | A 期待した成果があった  |  | B 一定の成果があった  |     | C 見直しや改善が必要 |    |
|                       |   |  |  |     |             |    |
| 課題と<br>今後の方向          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等の統廃合については、市の統合方針(案)に基づき、積極的に関係者と調整を図り推進する。</li> <li>・通園・通学バスについては、園児が減少している中、運行コストが上がっているためコストの抑制を図っていく必要がある。併せて、子どもたちの体力や社会性の育成、地域の維持・振興に必要な公共交通機関に対する影響を踏まえ、スクールバス運行の在り方を検証していく必要がある。</li> <li>・中学生の自転車通学者に対する補助額が、地区によって異なっていたため平成25年度より統一する。</li> <li>・耐震改修を予定している建物については、順次実施設計を行う。耐震化においては、統合を予定している南中学校以外のすべての建物において、耐震化完了予定年度の平成27年度を1年前倒して平成26年度までに完了させる。</li> <li>・里美小中学校整備については、平成26年度に小学校統合し、里美小中学校が共有する屋内運動場の建設を行い、平成27年度に現中学校屋内運動場の取壊しを予定する。</li> <li>・金砂郷統合中学校整備については、統合校舎建築を平成27年度中に完了予定とし、平成29年度に屋内運動場建築を予定し、平成30年度には外構工事を実施し、事業完了となる。</li> </ul> |  |  |     |             |    |
| 教育行政<br>評価委員<br>による意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合は、子どもの少ない地域で進めざるを得ない実情もあろうが、地域の活性化やその地域の心の拠り所に配慮をし、慎重に検討を進めてほしい。また、通学距離や通学時間が長くなることも配慮をしながら検討をしてほしい。</li> <li>・学校統合により通学バスの運行は必要と考えるが、市全体の小中学校通学状況の実態に応じた調整を進めてほしい。</li> <li>・通学環境については、地域子ども安全ボランティアの活用により交通安全対策や不審者対策を講じるほか、子どもたちの体力の低下問題を検証し、調整をしてほしい。</li> </ul>  |  |  |     |             |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |   |                              |   |     |     |    |
|---------------|---|------------------------------|---|-----|-----|----|
| 施策名           | 魅力ある学校づくり   |                              | 担当課   | 指導室 |     |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第1章   | 「輝く人」をつくる                    |   |     |     |    |
|               | 第1項   | 未来を拓く人づくり                    |   |     |     |    |
| 施策の目標         | 各学校が、学校評価、県学力診断のためのテスト、全国学力・学習状況調査、体力テスト等の分析と改善策及び生徒指導上の実態に基づいた課題解決を目指したり、地域の特性を生かした教育活動を取り入れたりしながら、特色ある学校づくりを推進することにより、児童生徒一人一人の「生きる力」の育成を図る。  |                              |   |     |     |    |
| 現状と課題         | ・各学校が自校のよさや課題を分析し、児童生徒の力を高めるための適切な事業計画を作成した上で実施している。事業計画作成については、ヒアリングを実施しており、目的の明確化と活動内容の妥当性も検討の上で実施している。   |                              |   |     |     |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名   | 概要                           | 主な成果  |     |     | 評価 |
|               | 活力ある学校づくり推進事業   | 学校としての特色を明確に打ち出した教育活動を充実させる。 | 学校の主体的な教育実践による学校の活性化(地域の教育力の活用、市学校教育指針の具現化、効果的な学校評価の実践等)<br>児童生徒一人一人の実態に応じた教育効果の向上(学力向上、道徳的実践力の育成、家庭学習の習慣化、体力の増進) |     |     | a  |
|               |   |                              |   |     |     |    |
|               |   |                              |   |     |     |    |
| 成果を示す主な指標     | 事業名   | 指標名(単位)                      | H23   | H24 | H25 | 評価 |
|               | 活力ある学校づくり推進事業   | 評価報告書(4段階)                   |   |     | 3.5 | a  |
|               |   | 「授業がわかる」と答える児童生徒の割合          | 91%   | 91% | 90% |    |
|               |   | 「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合          | 93%   | 92% | 93% |    |
|               |   | 体力テスト総合評価(A+B)の割合            | 65%   | 66% | 65% |    |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった  | B 一定の成果があった                  | C 見直しや改善が必要   |     |     |    |
| 課題と今後の方向      | 本事業の趣旨が浸透し、各学校とも自校のよさや課題を明確にした上で、地域や児童生徒の実態を踏まえた体験活動や学力向上を目指した日常的な取組、外部講師の招聘等が効果的に位置づけられ、積極的に事業推進が図られている。各学校とも自校の特色を生かした教育活動を展開することに意欲的であり、郷土常陸太田への愛着を育む活動にも積極的である。今後とも継続することで、児童生徒一人一人の夢や志を確かなものにするために必要な「生きる力」の育成に努める。また、各学校の教育プランと連動させることにより、よりダイナミックかつ創造的な教育活動が展開されると考えられる。学校の主体性が生かせるよう活動内容の枠組みに自由度をもたせ、各学校を支援したい。 |                              |   |     |     |    |
| 教育行政評価委員による意見 | ・体力テスト総合結果(A+B)の割合は過去3年間ほぼ同じ成果指標結果となっているが、スクールバスの影響による体力の低下や肥満傾向について検証して欲しい。<br>・各学校において地域の実情に合わせた様々な取り組みが行われている。引き続き、夢や志を確かなものとするよう事業を推進して欲しい。<br>・瑞竜中駅伝チームに代表されるように、子どもたちの部活動に取り組む姿勢が非常に良い。引き続き、一人一人の実態に応じた教育効果の向上を進めて欲しい。  |                              |   |     |     |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |  |                                |   |     |             |    |
|---------------|--|--------------------------------|---|-----|-------------|----|
| 施策名           | 魅力ある学校づくり  |                                | 担当課   | 指導室 |             |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第1章  | 「輝く人」をつくる                      |   |     |             |    |
|               | 第1項  | 未来を拓く人づくり                      |   |     |             |    |
| 施策の目標         | 学校や児童生徒一人一人のニーズに応じた支援を行い、夢や志を実現するために必要な「生きる力」の育成を図る。   |                                |   |     |             |    |
| 現状と課題         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模の小学校9校に、それぞれ1名ずつTT非常勤講師を配置し、チームティーチングによる学習指導方法を取り入れ、各学校においてきめ細かな指導を行っている。</li> <li>・特別支援教育指導員は、20名を9小学校、2中学校と教育支援センターに配置し、特別な教育支援を必要とする児童生徒に対して日常生活上の介助や学習支援を行っている。</li> <li>・各校とも限られた時間を有効活用し、児童生徒の学力向上に資するよう指導の工夫改善に努める。</li> </ul>                         |                                |   |     |             |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名  | 概要                             | 主な成果  |     |             | 評価 |
|               | TT特別配置   | 各学校で課題が見られる教科や学年に配置し、効果的に活用する。 | 学級での複数の指導者による支援は、児童生徒一人一人に即したきめ細かな対応が可能となり、学力向上に果たしている役割は大きい。 |     |             | b  |
|               | 特別支援教育指導員配置  | 日常生活の介助や学習指導の支援等を行う。           | 対象児童生徒に対する適切な個別支援が進められており、学習機会の保障及び学校生活における安全確保ができています。       |     |             | b  |
|               |  |                                |   |     |             |    |
| 成果を示す主な指標     | 事業名  | 指標名(単位)                        | H23   | H24 | H25         | 評価 |
|               | TT特別配置   | TT配置学校数                        | 12  | 12  | 9           | b  |
|               | 特別支援教育指導員配置  | 特別支援教育指導員の配置人数                 | 22  | 24  | 20          | b  |
|               |  |                                |   |     |             |    |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった   |                                | B 一定の成果があった   |     | C 見直しや改善が必要 |    |
|               |  |                                |   |     |             |    |
| 課題と今後の方向      | <p>学級の中で安心して学べるという心の面でのきめ細かな支援を要する児童が多くなってきている。また、より専門性を有する指導者の支援が必要な児童生徒への対応は、不十分な面もある。非常勤ではあるが、各学校とも限られた時間を最大限に有効活用して、児童生徒が安全安心して学び、学力向上が図られるようTT指導の工夫・改善、一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。</p> <p>学級担任が教育指導に専念し、一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導のために、非常勤講師を有効活用することは、さらなる学力向上に効果的である。また、専門的な指導ができる特別支援学校との連携を一層推進する。</p> |                                |   |     |             |    |
| 教育行政評価委員による意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の児童生徒数は減少しているが、特別な教育支援を要する児童生徒は増えていると言われている。就学前の幼児教育保育においても個に応じたサポートがされているようなので、就学後においても効果的に職員を配置し、学級経営に努めてほしい。</li> </ul>   |                                |   |     |             |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |   |                         |  |     |             |    |
|---------------|---|-------------------------|--|-----|-------------|----|
| 施策名           | 魅力ある学校づくり   |                         | 担当課  | 指導室 |             |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第1章   | 「輝く人」をつくる               |  |     |             |    |
|               | 第1項   | 未来を拓く人づくり               |  |     |             |    |
| 施策の目標         | 児童一人一人の科学に関する関心、意欲や科学的思考を高めるために、学校教育や生涯学習における児童の理科を学ぶ機会を保障するとともに、実技研修会の開催により、教員の理科指導力向上と学校における指導体制の充実を図る。   |                         |  |     |             |    |
| 現状と課題         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて教科として理科指導が入る小学校3・4学年の指導担当者を対象として、科学的な関心・意欲や思考力を高める指導法の研修会を行っている。</li> <li>・理科指導における教員全体の指導技術の向上を図るため、基本的な実験実技や新しい教材開発など、コース別の実技研修会を行っている。</li> <li>・楽しい理科授業づくりと教員の指導力向上のために、校内研修をバックアップする方法をさらに工夫する必要がある。</li> </ul> |                         |  |     |             |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名   | 概要                      | 主な成果   |     |             | 評価 |
|               | 未来を拓く常陸太田っ子サイエンスプロジェクト事業  | 理科指導法研修会の実施             | 理科実技研修や入門期の理科指導法研修会により、理科の授業に苦手意識を持つ小学校教員の指導力を向上させている。 |     |             | a  |
|               |   | 外部講師の活用                 | 5名の外部指導者を活用でき、ものづくりや野外活動等コース別の研修会が実施できた。               |     |             |    |
|               |   | 科学作品展及び発明工夫展への参加        | 児童生徒の関心意欲を高め、科学研究作品や発明工夫作品の県北地区展での入賞者を維持することができた。      |     |             |    |
|               |   |                         |  |     |             |    |
| 成果を示す主な指標     | 事業名   | 指標名(単位)                 | H23  | H24 | H25         | 評価 |
|               | 未来を拓く常陸太田っ子サイエンスプロジェクト事業  | 入門期における理科指導法研修会の実施回数    | 5  | 5   | 5           | a  |
|               |   | 小学校3・4年担当教員の参加人数(延べ)    | 114  | 92  | 87          |    |
|               |   | 科学作品展及び発明工夫展入賞者数(県北地区展) | 32   | 36  | 34          |    |
|               |   |                         |  |     |             |    |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった  |                         | B 一定の成果があった  |     | C 見直しや改善が必要 |    |
|               |   |                         |  |     |             |    |
| 課題と今後の方向      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科指導法に関する研修会等の内容を充実させ、さらに小学校教員の理科指導力の向上を目指す。また、児童生徒の理科への興味・関心を高める手段として、校内での科学研究作品相談を積極的に開催する。</li> <li>・小学校理科教科担任制を実施している学校の有効活用を図り、茨城大学との連携を推進しながら、小学校教員研修の場を確保する。</li> </ul>  |                         |  |     |             |    |
| 教育行政評価委員による意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科指導における教員全体の指導技術の向上のため、外部講師の活用を積極的に実施してほしい。また、理科や科学への興味関心については、小さいころから子どもたちが自然や生物に触れることから始めるものである。理科への興味関心がさらに高まるよう、他の施策と合わせ事業を取り組んでほしい。</li> </ul>  |                         |  |     |             |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

| 施策名           | 国際力の育成   |   |  |     | 担当課         | 教育総務課 |
|---------------|--|---|--|-----|-------------|-------|
| 総合計画における位置づけ  | 第1章  | 「輝く人」をつくる   |  |     |             |       |
|               | 第1項  | 未来を拓く人づくり   |  |     |             |       |
| 施策の目標         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の海外派遣の充実を図る。</li> <li>・市民や市内の外国人に外国語(英語・中国語)並びに日本語を学ぶ機会を提供し、国際理解や交流を深める。</li> </ul>                         |   |  |     |             |       |
| 現状と課題         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生に広い視野と国際感覚を養うため海外研修派遣を実施している。</li> <li>・外国語講座を受講する希望者が多く、市民の関心は高まっている。年間を通じた講師の確保が課題となっている。</li> </ul>      |   |  |     |             |       |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名  | 概要  | 主な成果   |     |             | 評価    |
|               | 中学生海外研修派遣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学2年生を対象に、オーストラリアにおいて、海外研修を実施。学校訪問による授業体験、ホームステイ、施設見学等を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生に英語や国際社会への関心をたかめさせ、国際理解教育の推進を図ることが出来た。</li> </ul> |     |             | b     |
|               | 外国語講座(英語・中国語)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT(外国語指導助手)中国人の指導により講座を開催する。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・語学や外国の習慣を学ぶ国際理解を深めることが出来た。</li> </ul>                |     |             | a     |
|               | 外国人に対する日本語講座   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に対し日本の文化や生活に慣れ親しむため講座を開催する。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語ボランティアの協力により日本の風土習慣を学び交流を深めることが出来た。</li> </ul>    |     |             | b     |
| 成果を示す主な指標     | 事業名  | 指標名(単位)   | H23  | H24 | H25         | 評価    |
|               | 中学生海外研修派遣  | 中学生海外研修申込者数   | 60   | 37  | 49          | b     |
|               | 外国語講座(英語・中国語)  | 外国語講座受講者数   | 125  | 132 | 133         | a     |
|               | 外国人に対する日本語講座   | 日本語講座受講者数   | 18   | 7   | 5           | b     |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった   |   | B 一定の成果があった  |     | C 見直しや改善が必要 |       |
|               |  |   |  |     |             |       |
| 課題と今後の方向      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の広い視野と国際感覚を養うため、研修内容の充実を図りながら実施していく。</li> <li>・外国語学習や国際理解機会の充実を図っていく。夏休み期間等を活用した集中的な講座開催を検討していく。</li> </ul> |   |  |     |             |       |
| 教育行政評価委員による意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生海外研修派遣は、中学生にとって貴重な体験であり、人生観や感性が養われるものである。今後も継続した事業の取り組みを期待したい。</li> </ul>                                   |   |  |     |             |       |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|              |   |   |  |                |             |    |
|--------------|---|---|--|----------------|-------------|----|
| 施策名          | 多様な学習機会の支援  |   | 担当課  | 生涯学習課・生涯学習センター |             |    |
| 総合計画における位置づけ | 第1章   | 「輝く人」をつくる   |  |                |             |    |
|              | 第2項   | 楽しい人生の生きがいづくり   |  |                |             |    |
| 施策の目標        | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズやまちづくりと連携した学習内容や機会の充実を図る。</li> <li>市民に地域の素晴らしさを知る学習機会を提供し、地域資源活用の推進を図る。</li> <li>科学の好きな子どもを育てる。</li> </ul>   |   |  |                |             |    |
| 現状と課題        | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における社会教育・生涯学習の拠点として設置された公民館において、市民の教養の向上や生活文化の振興を図ることができるように、各分野にわたる公民館活動の活性化を推進しているが、各地区の人口や就労状況等の違いにより公民館の活動内容に大きな開きがあるが、地域の特性を生かした事業を展開していくことが課題である。</li> <li>地域資源を活用した講座として歴史講座、自然講座や常陸太田探検隊講座等を開催している。引き続き魅力ある講座の企画が必要である。</li> <li>現在、小学校や中学校で「理科離れ」が進んでいると言われているが、小さい段階から自然や科学の現象に触れたり、体験を通して理科の好きな子を育てるのが課題である。</li> </ul> |   |  |                |             |    |
| 事務事業の成果と評価   | 事業名   | 概要  | 主な成果   |                |             | 評価 |
|              | 公民館活動活性化対策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地区公民館に活動の原資となる助成金を交付するとともに、公民館職員の研修や講習会を実施し、各分野バランスのとれた一般教養・家庭教育、健康、女性、青少年、高齢者、スポレク・コミュニティ、趣味の7つの分野に分けた学級・講座等を開催する。</li> <li>人口減少・少子化問題、健康づくり推進事業、地産地消、三世代交流、環境問題等、市の総合計画に基づく重要施策を推進する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズを的確にとらえたバランスのとれた事業、これまでの自己欲求を満たすだけの事業ではなく、地域コミュニティの振興やネットワークの強化を図り、「人づくり」「まちづくり」に資するため、市内19の公民館において341種の教室、講座を運営し、47,579人の参加者があった。</li> </ul> |                |             | b  |
|              | 地域資源学習講座  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した歴史講座や自然講座等を開催する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した歴史講座や自然講座等のほか、各地区の特色を活かした講座を実施し地域の素晴らしさを学ぶことができた。</li> </ul>   |                |             | b  |
| 子ども科学クラブの開催  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども科学クラブ実行委員会を開催し年10回の教室を実施する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>予想以上の参加申込みがあり、参加した児童たちは、楽しみながら科学の実験や体験をすることができた。</li> </ul>  |  |                | a           |    |
| 成果を示す主な指標    | 事業名   | 指標名(単位)   | H23  | H24            | H25         | 評価 |
|              | 公民館活動活性化対策  | 公民館事業参加者数(人)  | 51,842   | 49,048         | 47,579      | b  |
|              | 地域資源学習講座  | 参加者数(人)   | 370  | 441            | 402         | b  |
|              | 子ども科学クラブの開催   | 開催回数(回)   | 10   | 10             | 10          | a  |
| 施策の総合評価      | A 期待した成果があった  |   | B 一定の成果があった  |                | C 見直しや改善が必要 |    |
|              |   |   |  |                |             |    |
| 課題と今後の方向     | <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館活動全体のさらなる活性化とともに活動レベルの平準化を図ることが課題である。公民館職員を対象とした研修会を行い個々の資質の向上を図るとともに、地域住民のニーズを的確にとらえた学級、講座等の企画・運営を行ない事業レベルの底上げを行なっていく。</li> <li>各地域の特色ある史跡、歴史、自然等を生かした講座の企画が今後の課題である。引き続きアンケートなどを基に内容や開催場所、日時等についても検討していく。</li> <li>子ども科学クラブ事業は、対象学年小学3年生以上、募集人数72名で行っているが、対象学年、適正な受け入れ人数の検討、より分かりやすい講座の運営が課題である。</li> </ul>                     |   |  |                |             |    |



|                       |  |
|-----------------------|--|
| 教育行政<br>評価委員<br>による意見 | ・公民館活動活性化対策については、公民館が地域の高齢者しかも限られた同じ人が活動されているような気がする。高齢者に限らず、子どもの居場所、活動拠点として受け入れられるような体制の構築を推進してほしい。<br>・週3日の運営実態を検証し、公民館活動全体の活性化を検討してほしい。 |
|-----------------------|--|

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |  |   |  |              |             |    |
|---------------|--|---|--|--------------|-------------|----|
| 施策名           | 地域文化活動への支援   |   | 担当課  | 生涯学習センター・文化課 |             |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第1章  | 「輝く人」をつくる                                     |  |              |             |    |
|               | 第2項  | 楽しい人生の生きがいづくり                                 |  |              |             |    |
| 施策の目標         | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生涯学習に対する意識を高めるとともに、市民一人ひとりの自主的学習を促進し、生涯学習の一層の振興と地域の活性化を図る。</li> <li>市民の芸術や文化活動、教養を高める自主的な活動を活発化するため、活動や発表の場を提供する。</li> </ul>   |   |  |              |             |    |
| 現状と課題         | <ul style="list-style-type: none"> <li>各地区において、特色を生かした生涯学習フェスティバル等を開催しているが、参加団体が少なくなってきたりしている地区がある。<br/>生涯学習センター(2月開催:生涯学習フェスティバル)<br/>金砂郷学習センター(11月開催:芸術文化の祭典inかなさごう)<br/>水府学習センター(11月開催:水府地区きらめきフェスティバル)<br/>里美学習センター(11月開催:里美文化祭)</li> <li>自主企画事業は、市民等が親しみ、楽しめる芸能・芸術鑑賞機会や市民参加型事業を提供している。</li> <li>ロビーコンサートは、市内在住及び市出身の音楽家等の発表の場、市民等が無料で親しめるコンサートとして年に数回、休日の午後に開催している。</li> <li>市の助成により、市内の音楽関係団体や芸能文化団体が一堂に会した発表を行い、市民に鑑賞や発表の機会を提供している。来場者についても実績を上げている。</li> <li>市民の芸術文化活動の発表の場として、市美術展覧会、ひたちおおた芸能祭等の文化事業を開催している。</li> </ul> |   |  |              |             |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名  | 概要  | 主な成果   |              |             | 評価 |
|               | 生涯学習フェスティバル等の開催  | 各学習センターにおいて、それぞれ地域の特色を活かした生涯学習成果発表会を実施する。     | 参加者には、日頃の生涯学習の成果の発表をすることにより、更なる学習意欲の高揚になっている。また、来場者には市内で活動している生涯学習サークルの紹介の場になっている。 |              |             | b  |
|               | 自主企画   | 主催及び共催事業を併せて8事業9公演を実施した。                      | 入場率は87.4%と昨年より大幅に増加した。チケットを完売した事業が2件、ほぼ完売した事業が2件あった。                               |              |             | a  |
|               | ロビーコンサート   | 出演者を一般公募し、ミニコンサートを10回開催した。                    | 多くの市民に演奏発表及び鑑賞の機会を提供することができた。  |              |             | a  |
|               | 美術展覧会開催  | 市民等の創作活動の成果発表の場として、小中学生と一般の部に分けて美術展覧会を開催した。   | 出品点数は、ほぼ前年並みでやや低調であった。   |              |             | b  |
| 文化振興補助(芸能祭ほか) | 文化団体が実施する文化公演事業に対し補助を行った。(5事業)   | 市の芸能文化の振興に寄与できた。多くの出場者や来場者があり、市民等の大きな支援を得ている。 |  |              | b           |    |
| 成果を示す主な指標     | 事業名  | 指標名(単位)                                       | H23  | H24          | H25         | 評価 |
|               | 生涯学習フェスティバル等開催   | 参加団体数   | 190  | 193          | 211         | b  |
|               | 自主企画   | 事業の入場者数(人)                                    | 4,931  | 6,233        | 6,746       | a  |
|               | ロビーコンサート   | 事業の来場者数(人)                                    | 525  | 755          | 807         | a  |
|               | 美術展覧会開催  | 一般の部出品点数(件)                                   | 238  | 196          | 195         | b  |
|               | 文化振興補助(芸能祭ほか)  | 事業の来場者数(人)                                    | 3,000  | 3,000        | 3,000       | b  |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった   |   | B 一定の成果があった  |              | C 見直しや改善が必要 |    |
|               |  |   |  |              |             |    |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <p>課題と<br/>今後の方向</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体, 来場者の少なくなっている地区については, いかに生涯学習団体を育成していくかが課題である。</li> <li>・生涯学習団体の育成については, 今後, 施設活用と併せた各種教室の開催や関係各課と検討を進める。</li> <li>・平成25年度は, 金砂郷地区では, 常陸秋そばフェスティバルと同時開催で来場者数は増加した。</li> <li>・自主企画事業は, 市民に上質な芸術や芸能を鑑賞する機会を提供するものなので, 今後も内容の充実に努めていきたい。高い入場率が見込めないジャンルの事業については, 各種文化財団の補助制度を積極的に活用する取り組みをしていきたい。</li> <li>・ロビーコンサートは, 事業の認知度が高くなり出演希望者が増えてきている。事業の趣旨に合った出演者の選定に努めていきたい。</li> <li>・美術展覧会については, 内容の充実を図るために, 出品点数の増加を図り審査体制今後も継続して実施していきたい。</li> </ul> |
| <p>教育行政<br/>評価委員<br/>による意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビーコンサートは, 多くの市民に身近に鑑賞の機会を提供することができている。今後も継続した事業の取り組みを期待する。</li> <li>・小中学生の創作活動の成果・発表の場として, 地区生涯学習センター以外に, 広く一般市民に見てもらえるよう展示期間, 場所等の工夫をしてほしい。</li> </ul>  |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

| 施策名          | スポーツ・レクリエーション活動への支援   |  |  | 担当課     | スポーツ振興課     |    |  |
|--------------|---|--|--|---------|-------------|----|--|
| 総合計画における位置づけ | 第1章   | 「輝く人」をつくる  |  |         |             |    |  |
|              | 第2項   | 楽しい人生の生きがいづくり                                      |  |         |             |    |  |
| 施策の目標        | ・子どもから高齢者や障害者まで、誰もがいつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進める。   |  |  |         |             |    |  |
| 現状と課題        | <p>・自由時間の増大や健康志向の広がりなどに伴い、市民の誰もが体力や年齢などに応じてスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう各種の教室や大会を開催するとともに、こうした活動に適切な指導・助言ができる指導者の養成・確保に努めている。</p> <p>・運動習慣のきっかけづくりとしてチャレンジデー、市民健康スポーツデーを取り組み、体育協会支部等との連携を図りながらスポーツ実施率の向上に努めている。</p> <p>・体育施設は合併前において各種の制度を活用し運動広場や野球場、体育館、プールなどが整備され、今年度は、少年野球場や親水広場を整備したが、他の体育施設は老朽化が進んでおり修繕が必要な施設がある。</p> |  |  |         |             |    |  |
| 事務事業の成果と評価   | 事業名   | 概要   | 主な成果   |         |             | 評価 |  |
|              | 各種スポーツ大会の開催   | ・市民の体力づくり、競技力向上のために各種スポーツ大会を開催する。                  | ・5大会のうち、駅伝・ロードレースは小中学生を中心とするスポーツ振興に効果があった。登山マラソンにおいては、参加者1,000人を超え、交流人口増加や市のPRにも貢献できている。 |         |             | b  |  |
|              | 市民体力づくり推進   | ・市民の健康づくりや体力づくりを目的として、運動習慣づくりの啓発広報及び各種スポーツ教室を開催する。 | ・5事業中2大会で参加人数が増加しており、スポーツの振興に効果があった。スポーツ推進委員の巡回スポーツ教室や地域への派遣により地域スポーツの振興が図られている。         |         |             | b  |  |
|              | スポーツ施設整備  | ・市民が安全・安心にスポーツ・レクリエーションに親しめる施設環境の整備を進める。           | ・施設全体で利用者は20万人を超えており、スポーツの振興が図られている。平成23・24・25年度と年々利用者が増加している。                           |         |             | b  |  |
|              | 温水プール運営   | ・市民の健康増進を図るため、民間のノウハウを活用した指定管理制度による運営を行う。          | ・平成23年度は震災の影響で他のプールが使用できなくなった影響で一時的に利用者が増加したが、平成24・25年度は、水泳教室の開催等により震災前の利用者を上回っている。      |         |             | a  |  |
| 成果を示す主な指標    | 事業名   | 指標名(単位)  | H23  | H24     | H25         | 評価 |  |
|              | 各種スポーツ大会の開催   | 参加者数(人)  | 4,231  | 3,945   | 2,805       | b  |  |
|              | 市民体力づくり推進   | 参加者数(人)  | 19,214   | 22,263  | 23,661      | b  |  |
|              | スポーツ施設整備  | 体育施設利用者数(人)  | 202,526  | 214,547 | 218,707     | b  |  |
|              | 温水プール運営   | 温水プール利用者数(人)                                       | 58,061   | 55,724  | 53,992      | a  |  |
| 施策の総合評価      | A 期待した成果があった  |  | B 一定の成果があった  |         | C 見直しや改善が必要 |    |  |
|              |   |  |  |         |             |    |  |
| 課題と今後の方向     | <p>・人口減少と高齢化が進む中において、健康でいきいきと市民が生活できる環境を進めるために、市民がそれぞれの年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加し、楽しみながら健康づくりができる各種事業を推進する。</p> <p>・スポーツを通じた市民の健康づくりに資するため、ラジオ体操の習慣化を推進する。</p> <p>・老朽化した施設については、施設整備計画を策定し緊急性の高いものから計画的に改修する。</p> <p>・民間の経営で培われた経営手法を活かしてスポーツ施設の管理運営を進める。</p>   |  |  |         |             |    |  |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 教育行政<br>評価委員<br>による意見 | ・子どもたちを取り巻く環境の変化により、運動不足、肥満傾向、体力の低下が叫ばれている。幼児期から学童期、高齢者や障害者等、年齢を問わず市民の体力づくりと健康増進のため、各種事業の推進を期待したい。 |
|-----------------------|--|

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |   |   |   |       |             |    |
|---------------|---|---|---|-------|-------------|----|
| 施策名           | 犯罪のないまちづくり  |   | 担当課   | 教育総務課 |             |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第2章   | 「安らぎのある快適環境」をつくる                                |   |       |             |    |
|               | 第3項   | 安全安心なまちづくり                                      |   |       |             |    |
| 施策の目標         | ・「地域子ども安全ボランティア」や「子どもを守る110番」など、地域住民の協力を得ながら登下校時の子どもの安全を確保する。   |   |   |       |             |    |
| 現状と課題         | ・子どもの安全確保のため、「こどもを守る110番の家」の拡充、地域子ども安全ボランティアとの連携強化により、地域ぐるみの防犯活動を推進する。                                      |   |   |       |             |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名   | 概要  | 主な成果  |       |             | 評価 |
|               | 子どもの安全対策強化  | ・登下校時の児童生徒の安全を確保するため、地域子ども安全ボランティアの登録推進や研修会の実施。 | ・保護者や地域住民が、地域子ども安全ボランティアとして、登下校の見守りや、あいさつ・声かけ運動を行うことにより子どもの安全確保が図られた。 |       |             | b  |
|               |   |   |   |       |             |    |
| 成果を示す主な指標     | 事業名   | 指標名(単位)   | H23   | H24   | H25         | 評価 |
|               | 子どもの安全対策強化  | 地域子ども安全ボランティア会員数(人)                             | 800   | 767   | 754         | b  |
|               |   |   |   |       |             |    |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった  |   | B 一定の成果があった   |       | C 見直しや改善が必要 |    |
|               |   |   |   |       |             |    |
| 課題と今後の方向      | ・地域子ども安全ボランティアとの連携を密にし、組織の強化を図るとともに、会員数が減少傾向にあるため、増加促進を図る。  |   |   |       |             |    |
| 教育行政評価委員による意見 | ・地域子どもボランティアの活動実態は、地域により温度差があるのではないかと。子どもたちを犯罪や事故から守るため、地域の役割は非常に大きくなっている。学校や警察など、関係機関と連携を密にし、事業の推進を図ってほしい。 |   |   |       |             |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |   |  |  |          |             |    |
|---------------|---|--|--|----------|-------------|----|
| 施策名           | 地産地消の推進   |  | 担当課  | 学校給食センター |             |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第3章   | 「まちの元気」をつくる  |  |          |             |    |
|               | 第1項   | 地域を支える産業の元気と働く環境づくり  |  |          |             |    |
| 施策の目標         | ・学校給食において地場産物を利用拡充し、地産地消の更なる推進を図る。  |  |  |          |             |    |
| 現状と課題         | <p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食における地元産食材の利用状況は、米、豆腐、醤油、こんにゃく等は全て地元産を使用している。</li> <li>・長ネギ、きゅうり、大根、白菜、キャベツ等を中心に多く取り込んでいる。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制の確立及び整備に取り組んでいるが、露地物野菜のため時期が限られており、食材の種類や数量の安定した確保が難しい。</li> </ul> |  |  |          |             |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名   | 概要   | 主な成果   |          |             | 評価 |
|               | 地産地消の推進事業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元食材にこだわった特別メニューで児童生徒への地域理解を高める。</li> <li>・米粉パン導入による地元産コシヒカリ米の消費拡大と安心した給食の提供。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産物を利用した地元産コシヒカリ米及び野菜等の導入により、子どもたちが地域との愛着や関心を高めている。さらに安全安心な給食の提供ができています。</li> </ul> |          |             | b  |
|               |   |  |  |          |             |    |
|               |   |  |  |          |             |    |
| 成果を示す主な指標     | 事業名   | 指標名(単位)  | H23  | H24      | H25         | 評価 |
|               | 地産地消の推進事業   | 学校給食での地場産物の使用割合(%)   | 54   | 58       | 55          | b  |
|               |   |  |  |          |             |    |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった  |  | B 一定の成果があった  |          | C 見直しや改善が必要 |    |
|               |   |  |  |          |             |    |
| 課題と今後の方向      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA常陸及び地元産取扱業者並びに生産団体との連携を図り、定期的な地元産食材の調達を行う。</li> <li>また、現状の食材以外にも地元産の利用できる食材があれば積極的に使用する。</li> </ul>   |  |  |          |             |    |
| 教育行政評価委員による意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の取り組みが進められているが、子どもたちにとってその取り組みがさらに浸透されるよう、メニューの表示方法等に工夫してほしい。</li> <li>・常陸太田産のお米は非常に美味しいとの評判である。</li> </ul>   |  |  |          |             |    |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

| 施策名          | 歴史資源の確保・活用   |   |   | 担当課   | 文化課         |    |   |
|--------------|--|---|---|-------|-------------|----|---|
| 総合計画における位置づけ | 第3章  | 「まちの元気」をつくる   |   |       |             |    |   |
|              | 第2項  | 地域ブランドと交流空間づくり  |   |       |             |    |   |
| 施策の目標        | <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の活用を積極的に進めることで、市民が文化財をもっと身近に感じ、その重要性和保護の必要性を啓発する。</li> <li>市民との協働により、文化財の保護・活用体制の充実を図る。</li> <li>文化財の整備を進め、後世に伝えていくとともに、地域の資源として積極的な活用を図る体制をつくる。</li> <li>郷土資料館では建物の価値を活かしながら、耐震補強を含めた改修に着手する。</li> </ul>  |   |   |       |             |    |   |
| 現状と課題        | <ul style="list-style-type: none"> <li>所有者が主体となって整備事業に取り組み国、県、市が補助をしながら進めているが、多額の費用を必要とし、所有者の負担が大きい。また、災害復旧事業も本格化し、費用負担の増とともに、各種調査も入ってきており、市としての費用負担と事務量が增大している。</li> <li>指定文化財については公開の体制が確立され、地域・大学と協働による公開も行われ、イベントとして浸透している。</li> <li>埋蔵文化財専門職員が配置されていることで、国庫補助事業の採択を得ている。</li> <li>郷土資料館の改修にあたっては、国庫補助事業の採択を受けたが、繰越事業となった改修工事の実施設計業務が完了し、工事に着手した。</li> </ul> |   |   |       |             |    |   |
| 事務事業の成果と評価   | 事業名  | 概要  | 主な成果  |       |             | 評価 |   |
|              | 指定文化財公開推進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財集中曝涼の開催</li> <li>県郷土民族芸能の集いへの参加</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市外2か所を含む12か所で公開延3,907名が来場</li> <li>茨城大生の解説ボランティア</li> <li>東金砂神社田楽舞の公開</li> </ul>                                 |       |             |    | a |
|              | 文化財保護普及啓発  | <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の新規指定</li> <li>文化財ガイドブック・絵はがき(2種類)の販売</li> <li>歴史のさんぼ道スタンプラリー開催(小学5・6年生)</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>新規国指定1件、市指定3件、国登録3棟、ふるさと文化財の森1件</li> <li>文化財ガイドブック販売189冊</li> <li>文化財絵はがき販売84組</li> <li>スタンプラリー達成者32名</li> </ul> |       |             |    | b |
|              | 指定文化財保存整備  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内遺跡調査</li> <li>西山荘の国指定申請に向けた調査検討</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>開発に伴う試掘3か所</li> <li>水戸徳川家墓所試掘確認調査</li> <li>市内遺跡調査報告書発行</li> <li>公共事業に伴う発掘調査4か所</li> <li>西山荘調査検討委員会開催</li> </ul>  |       |             |    | b |
|              | 郷土資料館整備事業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料館所蔵資料整理</li> <li>梅津会館新館解体工事</li> <li>郷土資料館改修実施設計</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>学芸員有資格嘱託職員1名雇用</li> <li>郷土資料館新館解体工事実施</li> <li>郷土資料館改修実施設計</li> </ul>  |       |             |    | b |
| 指定文化財等災害復旧事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>水戸徳川家墓所、西山荘、正宗寺総門、阿弥陀堂楼門(繰越)の災害復旧</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>水戸徳川家墓所...H 28まで</li> <li>西山荘...H 26まで</li> <li>正宗寺総門...H 26まで</li> <li>阿弥陀堂楼門...完了</li> </ul> |   |       |             | a  |   |
| 成果を示す主な指標    | 指標名(単位)  |   | H23   | H24   | H25         | 評価 |   |
|              | 指定文化財公開推進  | 指定文化財集中曝涼延べ来場者数   | 2,188   | 4,593 | 3,907       | a  |   |
|              | 文化財保護普及啓発  | 文化財ガイドブック有償頒布数  | 203   | 189   | 145         | b  |   |
|              | 郷土資料館企画展開催   | 企画展開催期間中の1日平均入場者数(人)  | -   | 11    | -           | c  |   |
| 施策の総合評価      | A 期待した成果があった   |   | B 一定の成果があった   |       | C 見直しや改善が必要 |    |   |
|              |  |   |   |       |             |    |   |



|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <p>課題と<br/>今後の方向</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財集中曝涼では、事業のPRが浸透され、また市民の関心度も年々高まり、過去最高の来場者を迎えることができた。地域でも特色ある事業が展開され、また、茨城大学人文学部の協力により展示資料の解説も行われ、来場者からも地域からも好評であったので、今後継続してできるように連携を進めていく。</li> <li>・文化財ガイドブックは改訂版を発行し、販売部数も順調である。また、巨樹巨木の絵はがきを発行し、販売価格を仏像編とともに100円に設定し、広く周知できるよう努めている。</li> <li>・郷土資料館の改修は、H23に保存活用計画を策定し、新館解体などの諸事情により一部を改訂して、H24からの繰越事業として実施設計を行っている。今後は改修後の施設の運営について指定管理者制度も含めて効率的な運営について検討をしていく必要がある。</li> <li>・指定文化財の災害復旧にあたっては、国・県の補助を受けながら事業に取り組んでおり、早期の事業完了を目指しているが、文化財の復旧という特殊技術を要するため、H28まで継続する状況である。</li> </ul> |
| <p>教育行政<br/>評価委員<br/>による意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中曝涼の実施時期だけではなく、文化財へ案内する道路表示板の常設設置を望む。</li> <li>・平成26年度のことであるが、郷土資料館梅津会館の案内スタッフに、NPO法人が携わっていたが、新しい取り組みでありその効果を見守りたい。</li> </ul>  |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |  |   |   |     |             |     |
|---------------|--|---|---|-----|-------------|-----|
| 施策名           | 自然・観光資源の環境整備とネットワーク化   |   |   |     | 担当課         | 文化課 |
| 総合計画における位置づけ  | 第3章  | 「まちの元気」をつくる                                 |   |     |             |     |
|               | 第2項  | 地域ブランドと交流空間づくり                              |   |     |             |     |
| 施策の目標         | <p>・社会構造の変化や個人意識の多様化に伴い、地域コミュニティの衰退や地域の伝統文化等の風化が危惧されていることから、エコミュージアム活動により地域づくりに取り組む市民の自立性が喚起され、地域の良さや誇り、愛着を再認識し、温もりのあるコミュニティの醸成を図り、更には、地域の人や資源を活かした地域活動(環境整備や交流活動、生産及び経済活動)を推進し、次の世代に引き継ぐことを目的とする。</p>   |   |   |     |             |     |
| 現状と課題         | <p>(現状)<br/> 地域住民が主体となって、地域資源を認識し、暮らしや地域を見つめ直し、地域への愛情と誇りを持てる活力ある地域づくりを、地域主体で市民主導型の活動となるように支援している。</p> <p>(課題)<br/> エコミュージアム活動推進委員会の活性化を図る。<br/> エコミュージアム活動への更なる市民参加の向上を図る。<br/> 茨城県北ジオパーク推進協議会と連携しジオ資源の活用を図る。</p>  |   |   |     |             |     |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名  | 概要  | 主な成果                                      |     |             | 評価  |
|               | 地域訪問による啓発活動  | ・エコミュージアム(地域全体が博物館)の理念や概念の推進をする。            | ・地域の会議へ同席し、説明会等の実施及び来庁者に対してのエコサロンでの説明の実施。 |     |             | b   |
|               | 地域資源の探索、地域交流事業   | ・地域の人や資源を活かした地域活動(環境整備や交流活動、生産及び経済活動)を推進する。 | ・地域の見直しやコミュニティの醸成が図られた。                   |     |             | a   |
|               | 地域交流事業の支援、地域活動の支援  | ・事業の進め方の相談や助言、講師の紹介。                        | ・地域が主体となるような活動が増えている。                     |     |             | b   |
| 成果を示す主な指標     | 事業名  | 指標名(単位)                                     | H23                                       | H24 | H25         | 評価  |
|               | エコミュージアム活動   | エコミュージアム活動の推進                               | 12  | 17  | 19          | b   |
|               |  |   |   |     |             |     |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった   |   | B 一定の成果があった                               |     | C 見直しや改善が必要 |     |
|               |  |   |   |     |             |     |
| 課題と今後の方向      | <p>・エコミュージアム事業は、地域が主体となるような中長期的な展望にたったものであり、生活に密着した循環型社会の構築を目指し、積極的に推進する必要がある。</p> <p>・また、職員による積極的な地域訪問や説明会を基本としているが、情報媒体を利用した活動の紹介や地域間交流活動の新たな展開を推進したい。</p> <p>・今後は、エコミュージアム活動を継続している地域の広域的なエコミュージアム活動の展開の支援を行うこと、そしてエコミュージアム活動を取り組んだ地域への支援もあわせて検討していきたい。</p> |   |   |     |             |     |
| 教育行政評価委員による意見 | <p>・常陸太田市は自然や観光資源が多くある。地域独自の方向性や主体的な取り組みについて、エコミュージアム推進員によりPRの工夫を図ってほしい。</p>   |   |   |     |             |     |

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成25年度事業)

|               |  |  |   |       |             |    |
|---------------|--|--|---|-------|-------------|----|
| 施策名           | 広域連携・交流の推進   |  | 担当課   | 図書館   |             |    |
| 総合計画における位置づけ  | 第3章  | 「まちの元気」をつくる  |   |       |             |    |
|               | 第2項  | 地域ブランドと交流空間づくり   |   |       |             |    |
| 施策の目標         | ・5市(日立市,高萩市,北茨城市,福島県いわき市,常陸太田市)の図書館の条例・規則等の定めるところにより,貸出その他の広域利用に必要な事業を行う。  |  |   |       |             |    |
| 現状と課題         | ・5市の協定を締結して,平成23年7月から実施している。広域利用カードを作製し,利用市立図書館へ登録して図書資料の貸出を行っている。隣接市の利用が多いので,今後は隣接市町村との相互利用を進めていきたい。  |  |   |       |             |    |
| 事務事業の成果と評価    | 事業名  | 概要   | 主な成果  |       |             | 評価 |
|               | 公共図書館広域相互利用  | ・5市(日立市,高萩市,北茨城市,福島県いわき市,常陸太田市)の図書館が,広域利用協定市の利用者それぞれ図書資料の貸出を行っている。 | ・地元の図書館へ行くのが不便だった利用者が,他市の図書を借りられるようになり,図書の利用向上が図られた。<br>利用カード登録者数...189人<br>*他市の利用カード登録者数<br>日立市.....778人<br>高萩市.....316人<br>北茨城市...164人<br>いわき市...583人 |       |             | b  |
|               |  |  |   |       |             |    |
| 成果を示す主な指標     | 事業名  | 指標名(単位)  | H23   | H24   | H25         | 評価 |
|               | 公共図書館広域相互利用  | 貸出数(冊)   | 1,535   | 2,004 | 1,629       | b  |
|               |  |  |   |       |             |    |
| 施策の総合評価       | A 期待した成果があった   |  | B 一定の成果があった   |       | C 見直しや改善が必要 |    |
|               |  |  |   |       |             |    |
| 課題と今後の方向      | ・5市の協定を締結して,平成23年7月から実施している。広域利用カードを作製し,当市立図書館への登録者数は189人(内訳:日立市...184人,高萩市...2人,北茨城市...0人,いわき市...3人),常陸太田市民が協定市に登録している数は204人(内訳:日立市...194人,高萩市...1人,北茨城市...0人,いわき市...9人)である。今後も引き続き広域相互利用を継続していくが,更に隣接市町村との相互利用も推進していく。 |  |   |       |             |    |
| 教育行政評価委員による意見 | ・図書利用や市民の利便向上性を図るため,隣接市町村(常陸大宮市・那珂市・東海村)への範囲拡大を図ってほしい。   |  |   |       |             |    |

## 参考 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した5名の委員により構成されている。

常陸太田市教育委員会委員 [平成26年3月31日現在]

| 職名       | 氏名     | 任期  |
|----------|--------|---|
| 委員長      | 根本 恵子  | 平成23年4月1日から平成27年3月31日まで<br>(平成25年4月1日から委員長職務代理者)<br>(平成25年10月7日から委員長) |
| 委員長職務代理者 | 小林 憲男  | 平成25年10月5日から平成29年10月4日まで<br>(平成25年10月7日から委員長職務代理者)                    |
| 委員       | 本多 技研  | 平成24年4月1日から平成28年3月31日まで   |
| 委員       | 佐川 美都里 | 平成25年4月1日から平成29年3月31日まで   |
| 教育長      | 中原 一博  | 平成21年4月1日から平成25年3月31日まで<br>平成25年4月1日から平成29年3月31日まで                    |

### 2 教育委員会の活動状況について

定例会、臨時会など、平成25年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

| 年月日        | 出席委員数 | 件名  |
|------------|-------|---|
| 平成25年4月1日  | 5名    | 臨時会<br>・委員長職務代理者の指定について   |
| 平成25年4月8日  | 4名    | 市内小学校入学式  |
| 平成25年4月9日  | 2名    | 市内小学校入学式  |
| 平成25年4月25日 | 5名    | 定例会<br>・常陸太田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について<br>・常陸太田市指定有形文化財の指定について<br>・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について<br>・常陸太田市文化財保護審議会委員の委嘱について<br>・市教育委員会の行事等について |
| 平成25年5月23日 | 5名    | 定例会<br>・常陸太田市障害児就学指導委員会委員の委嘱について<br>・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱等について  |

|             |    |   |
|-------------|----|---|
|             |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市社会教育委員の委嘱について</li> <li>・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・常陸太田市立図書館協議会委員の任命について</li> <li>・教育財産（旧佐都小学校の一部）の所管換えについて</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>                                  |
| 平成25年5月31日  | 4名 | <p>臨時会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度常陸太田市一般会計補正予算（第3号）案（教育費関係）の編成に対する意見について</li> </ul>   |
| 平成25年6月27日  | 5名 | <p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度第2回市議会定例会（6月定例会）一般質問及び答弁要旨について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>   |
| 平成25年7月26日  | 5名 | <p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度使用小・中学校教科用図書採択について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>   |
| 平成25年8月28日  | 4名 | <p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市民交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・平成25年度常陸太田市一般会計補正予算（第6号）案（教育費関係）の編成に対する意見について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul> |
| 平成25年 9月26日 | 5名 | <p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度小・中学校県費負担教職員の勤務評定の結果について</li> <li>・常陸太田市民交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・学校医の委嘱について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>   |
| 平成25年10月 7日 | 5名 | <p>臨時会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会委員長の選挙について</li> <li>・教育委員会委員長職務代理者の指定について</li> </ul>  |
| 平成25年10月23日 | 5名 | 学校訪問（郡戸小、久米小、久米幼稚園、金砂郷小）  |

|             |    |  |
|-------------|----|--|
| 平成25年10月24日 | 5名 | 学校訪問（北中、金郷幼稚園、南中）  |
| 平成25年10月24日 | 5名 | 定例会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市学童児童生徒の就学すべき学校指定に関する規則の一部改正について</li> <li>・金砂郷地区統合中学校基本設計概要について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>   |
| 平成25年10月31日 | 5名 | 学校訪問（水府小、水府中、水府幼稚園、山田小）  |
| 平成25年11月1日  | 5名 | 学校訪問（賀美小、里美幼稚園、小里小学校、里美中）  |
| 平成25年11月8日  | 5名 | 臨時会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・教育財産（水府中学校の一部）の所管換えについて</li> </ul>  |
| 平成25年11月28日 | 5名 | 定例会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について</li> <li>・平成25年度常陸太田市一般会計補正予算（第8号）案（教育費関係）の編成に対する意見について</li> <li>・平成25年度（平成24年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について</li> <li>・平成25年度常陸太田市教育振興大会について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul> |
| 平成25年12月25日 | 5名 | 常陸太田市教育振興大会  |
| 平成25年12月25日 | 5名 | 定例会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市学齢児童生徒の就学すべき学校指定に関する規則の一部改正について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>  |
| 平成26年1月     | 5名 | 平成25年成人式   |
| 平成26年1月23日  | 5名 | 定例会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・諸般の報告について</li> </ul>  |
| 平成26年1月29日  | 5名 | 臨時会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市教育委員会の所管に属する職員の任免について</li> </ul>   |
| 平成26年2月27日  | 5名 | 定例会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市教育委員会教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の意見の専決について</li> </ul>  |

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市学校教育施設整備基金の設置，管理及び処分に関する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市郷土文化保存伝習施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市交流センターふじの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市水府総合センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市里美文化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市水府海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市西金砂杜の湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市春友手づくり工芸センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市工芸交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市梨木平工芸の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について</li> <li>・常陸太田市郷土文化保存伝習施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市交流センターふじの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市水府総合センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市里美文化センターの設置及び管理に関する</li> </ul> |
|--|---|

|                            |      |  |
|----------------------------|------|--|
|                            |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市青少年センター運営協議会規則の一部改正について</li> <li>・平成25年度常陸太田市一般会計補正予算（第10号）案（教育費関係）の編成に対する意見について</li> <li>・平成26年度常陸太田市一般会計予算案（教育費関係）の編成に対する意見について</li> <li>・教育財産（旧北小学校の一部）の所管換えについて</li> <li>・県立県北地区特別支援学校（仮称）について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul> |
| 平成26年 3月12日                | 5名   | 市内中学校卒業式   |
| 平成26年 3月13日                | 5名   | 定例会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県費負担教職員の任免等の内申について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>   |
| 平成26年 3月31日                | 5名   | 臨時会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市民交流センター組織運営規則の廃止について</li> <li>・常陸太田市公民館主事の任命について</li> <li>・常陸太田市民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・常陸太田市立幼稚園非常勤職員勤務要綱の一部改正について</li> <li>・常陸太田市教育委員会の所管に属する職員の任免について</li> <li>・平成26年第1回市議会定例会（3月定例会）一般質問及び答弁要旨について</li> </ul>   |
| <b>平成25年度 教育委員会の会議開催状況</b> |      |  |
| 1                          | 開催回数 | 18回（定例会12回、臨時会6回）  |
| 2                          | 議案件数 | 54件  |
| 3                          | 報告件数 | 2件   |
| 4                          | 選挙件数 | 3件   |